

病害虫発生予察情報 5月予報 概要版 (令和5年5月12日発表)

群馬県農業技術センター発生予察係 (病害虫防除所)

★ 5月11日発表 気象の1か月予報 (気象庁発表)

- ・ 天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 平均気温は平年並または高い確率40%、降水量は平年並の確率40%、日照時間は少ない確率40%です。

★ 5月の病害虫予報 注目ポイント！！



アブラムシ類 . . . 発生量：並

現在までの発生量は平年並ですが、防除回数が少ないほ場では発生がやや多くなっています。ほ場をよく見回り、早期発見・早期防除を行いましょう。



麦類 赤かび病 . . . 発生量：並 発生時期：早い

赤かび病が発生した場合には刈り分けを行うなど、被害粒が混入しないように注意してください。食用麦の赤かび被害粒混入割合基準は1万粒に5粒未満です。

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	特記事項
イネ	縞葉枯病	並	並	ヒメトビウンカに効果のある育苗箱施用剤を使用する。
ナシ	赤星病	-	並	胞子の飛散が平年よりやや早く完了する見込み。
	ナシヒメシンクイ	-	並	トラップ調査による越冬世代の誘殺数は平年並。
果樹類全般	チャバネアオカメムシ	やや早い	並	一部のフェロモントラップと予察灯では、平年より早い時期に誘殺が確認されている。誘殺数は平年並。
施設果菜類	灰色かび病	-	並	発病した葉、花、果実は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で適切に処分する。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	特記事項
トマト キュウリ	コナジラミ類	-	並	トマト黄化葉巻病、キュウリ退緑黄化病のウイルスを媒介するので注意が必要。
キュウリ	べと病	-	並	草勢の衰えと多湿条件で発生量が増加する。適切な肥培管理と湿度管理を行う。
	褐斑病	-	並	多湿条件下では発生量が増加するので適切な湿度管理を行う。
	うどんこ病	-	並	多発してからの防除は効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除を行う。
	アザミウマ類	-	並	キュウリ黄化えそ病のウイルスを媒介するので注意が必要。
施設ナス	ハダニ類	-	並	気温の上昇に伴い発生量が増加するので、早期発見、早期防除に努める。
	アザミウマ類	-	並	気温の上昇に伴い発生量が増加するので、早期発見、早期防除に努める。
夏秋キャベツ	コナガ	-	並	生育初期の防除を徹底し、初期密度を下げることにより、生育期中盤以降の被害拡大を防止する。



詳しい予報はこちらから
病害虫発生予察情報一覧へリンク
トラップデータも毎週更新中！！

(<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>)



- ★ 農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。
- ★ 農薬散布後は器具をよく洗浄し、前に散布した農薬が混入しないよう注意しましょう。